

市長が飛び出す未来トーク

【令和6年大垣市二十歳を祝う会運営委員会】

と き / 令和6年2月17日（土）10:00～11:30

ところ / 大垣市情報工房2階・多目的研修室

参加者 / 10人



1 内 容

市長が、二十歳を祝う会運営委員会の皆様と、1月8日に開催した「二十歳を祝う会の振り返り」や、「選ばれるまち大垣」に向け、意見交換を行いました。

各委員から「二十歳を祝う会」に関しての良かった点や来年度以降への改善点の提案がありました。

また、「ふるさと大垣」についての意見交換では、市長から現在実施している政策はもとより大垣市の将来像についての話もあり、各委員が思う大垣市のよい点・改善点等積極的に発言がありました。

閉会にあたり、市長が「これから世界を舞台に活躍する皆さんが、いつでも大垣に帰ってきたい、終の棲家として大垣を選んでもらえるよう、もっともっと魅力的なまちにしていきたいと考えているので、期待してほしい」と述べました。

2 意見交換詳細

(1) 二十歳を祝う会について

①運営委員からの意見

- ・写真撮影がスムーズに行えたので、意外と時間が余った。もっといろんな企画ができればよかった。
- ・記念撮影は良い企画であった。
- ・サテライト会場でも十分楽しめたが、やはり式典会場に比べると、臨場感は欠けるのではと感じた。
- ・帰りがもっとスムーズにできると良い。駐車場も混雑していて、自分の親も困っていた。
- ・駐車場が11時30分まで入場できなかったため、近隣店舗に駐車していた人もいたという話を聞いた。駐車場をもっと確保できると良かった。
- ・以前友人が、「二十歳を祝う会はただ座っているだけだから楽しくない」と言っていたが、実際参加するととても楽しかったので、事前にもっとPRをして出席率を上げる工夫をしたほうが良い。
- ・フォーラムホテルは、交通の便があまりよくない。

②市長からのコメント

- ・式典の会場については、中学校ごとに会場を指定する中で、毎年異なる中学校が式典会場に参加できるよう配慮しないといけないとは考えていたが、コロナ前に、中学校に関係なく式典会場に入場できるようにするかどうか、また事務局と検討していく。
- ・「大垣フォーラムホテルで、式典・歓談会を、市内全対象者を一堂に会して開催する」方式は当面続けていきたい。交通の便や駐車場については引き続き課題となるため、参加者や近隣の迷惑にならないよう、やり方を検討していく。

(2) 「ふるさと大垣」について

①運営委員からの意見

- ・県外の人に大垣のイメージを尋ねても、鉄道好きや城・歴史好きの人は大垣のことを知っていても、大垣といえばこれ、というものが特にないため、PRポイントを作ったり、PRの仕方をもっと工夫したりすると良い。(市外や県外の友人を連れていく場所があまりない)
- ・「住みやすさランキング」や「公式YouTube」もあまり知らない人が多い。
- ・東京に住んでいる姉や、関東出身の親が「水がおいしい」「空気がきれい」とよく言うので、そこは魅力であると感じる。

- ・中心地とそれ以外で交通の便が異なるため、高校で中心地に住む人と交流するとギャップが大きかった。中心地以外ももっと交通の便が良くなると良い。
- ・若者世代をより取り込むには、子育て支援になお力を入れると良いのでは。
- ・18歳まで医療費控除は大変ありがたかった。
- ・駅周辺のシャッター街がもっと活性化されると、さらに魅力的になるため、補助や手厚いサポートを。(駅周辺がもっとにぎやかなまちが魅力的なまち)
- ・市役所の手続きがもっと簡易的に、一つの窓口で完結する仕組みがあると良い。
- ・高速道路の利便性が良く、東西どちらにも気軽に行きやすいのが良い。
- ・大垣市は他市町に比べ祭りが多いイメージがあり、市外の友人にもよく羨ましがられた。
- ・上石津地域ももっと公共施設や商業施設を増やして、若者にももっと魅力を感じる場所にしてほしい。
- ・保育士の育休後の手厚いサポートをして、保育士の方がもっと気軽に就労したり、育児したりできる環境を作ると、もっと子育てに安心のまちになると感じる。

②市長からのコメント

- ・「ふるさと大垣科」を通じ、もっと市内の方に大垣について知ってもらい、さらに大垣愛を感じてもらいたいと考えている。
- ・公共交通の再編については、養老鉄道や近鉄バスなどと連携し、青墓・小野地区まで交通が行き届くよう令和5年度から体制を変えた。さらにもう少し細かいところまで行き届くよう、現在進めているところである。
- ・子育てについては、「こどもの居場所づくり」を中心に議論をしている。育休退園制度やおむつの持ち帰り制度など、必要に応じて度々議論はしてきたが、さらに子育てしやすいまちになるために、まだまだ課題は山積みであると感じている。
- ・窓口については、「ワンストップ窓口」や「駅北サービスセンター」など、市民の方が来庁や手続きに煩わしさを感じない仕組みを作ってきたが、もっと市民目線で利用しやすい制度を作っていないといけないと感じる。
- ・シャッター街については、現在ヤナゲン跡地の再開発をしているので、そこが変わればまた雰囲気もがらりと変わると考えている。併せて、大垣公園の再開発、西インター付近の利活用も進め、もっとにぎやかなまちになるようにしていきたいと考えている。
- ・上石津地域についても、緑の村を拠点として、ホンダと組んで人を集めるイベントを企画したりと、もっと魅力ある場所にしていきたいと考えている。
- ・墨俣地域についても、一夜城など、PRポイントをもっと活用して、様々な方面から大垣市全体をもっとPRしていきたいと考えている。

- ・これから世界を舞台に活躍する皆さんが、いつでも大垣に帰ってきたい、終の棲家として大垣を選んでもらえるよう、もっともっと魅力的なまちにしていきたいと考えているので、期待してほしい。

以 上